

討論

今定例会では、平成27年度八潮市一般会計補正予算（第1号）について、市民と市政をつなぐ会（反対）と自民クラブ（賛成）から討論がありました。

反対討論（市民と市政をつなぐ会）

補正予算には、マイナンバー制度実施に伴うシステム改修委託料が計上された。

国会では、制度施行前にもかかわらずマイナンバーの用途を預貯金口座や特定健康診査（メタボ健診）に広げる法案が審議中だが、日本年金機構がサイバー攻撃を受けて約125万件の個人情報流出した。

用途拡大法案の採決は延期されているが、国民が不安を募らせている中でも、マイナンバー制度は予定通りスタートすると明言している。

この制度は、運用開始時点で約100もの行政事務に及ぶから、もし何かあれば影響は今回の比ではない。

政府は、番号は暗号化してやり取りするから、個人番号が漏れたりすることはないと強調しているが、今後も戸籍、旅券、自動車登録、診療情報などに対象を拡大していく方針を示しており、紐付けされる個人情報ほとんど増えていく。安易な番号利用の拡大は危険の拡散は止めるべきはもちろん、危険を冒

して強行する緊急性はない。

この制度は法律によって実施が決まっており、法定受託事務だから自治体は国に言われた通りやるしかない、と思われがちだが、法定受託事務は、個人番号の付番と個人番号カードの交付のみで、その他は自治事務として自治体の責任で行われる。マイナンバー制度で提供される特定個人情報、自治体が保有する住民情報であり、その管理責任は自治体にある。

政府は、個人情報ば分散管理されるのでまとめて漏えいすることはないというが、情報連携のために最新の住民情報のコピーを記録保管する自治体の「中間サーバ」は、集約・共同化され、全国2カ所（相互バックアップするため、実質全国1カ所）で一括管理され、ここに日本国内の全ての住民の、最新の住所、世帯、税、福祉受給などの住民情報のコピーが集められるので、データベースは各自治体ごとに区分管理しアクセス制御されることになっているものの、ここから漏えいすれば、1億2000万人の最高度のプライバシーが一挙に拡散する。

中間サーバでの本人特定には、情報連携用の符号と各自治体の宛名番号を使いマイナンバーや住所氏名等は保存しないから、漏えいしても本人特定できないようなことを国は説明しているが、そもそも記録している住民情報から個人が特定される可能

性も高く、仮に、自治体から宛

名番号も漏えいすれば、完全に個人も特定できてしまう。どんなに強固なセキュリティであっても漏えいの危険性は0パーセントではないから、こんな危険なことは止めるべきだ。しかも、この中間サーバプラットフォームの運営にどこが責任を持つのかも曖昧になってきている。

自治体が作成する特定個人情報保護評価には、自治体では中間サーバの内容は知り得ないから、中間サーバの部分は総務省から提供された記載例をコピーしているだけ。総務省のいうままにコピーをして、自らの責任で「特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために十分な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言」させられているのが実態です。

4万4000名で構成する中小企業家同友会全国協議会が「セキュリティ整備にコストがかけられず、ノウハウもないとして、マイナンバー制度実施の延期等を含む4点の意見」を6月11日に公表し、16日に関係省庁に提出したと聞く。

県内3位の事業所数を抱える八潮市、しかも大半は中小・零細企業だ。中小企業家同友会全国協議会の意見は、市内の事業所の大半が望むことであり、市としても国に対して廃止も視野に入れた延期等の要請をすべき

だ。

以上、マイナンバー制度そのものについて反対のため予算についても反対する。

賛成討論（自民クラブ）

議案第51号平成27年度八潮市一般会計補正予算（第1号）について、賛成の立場から討論いたします。

今回の補正予算を見ますと、主なものとして、歳入では、多子世帯保育料軽減事業の実施に伴う、保育料の減額や国庫・県補助金の予算化、社会保障・税番号制度システム整備費補助金の増額や健康長寿埼玉モデル普及促進事業補助金の予算化など、それぞれの事業の実施に伴う適切な予算措置がなされていると考えます。

一方、歳出についてですが、総務費では、社会保障・税番号制度に係る委託料が増額されており、

今後、万全なセキュリティ対策による個人情報の保護のもと、市民の利便性の向上及び事務の効率性・透明性が高まるものと考えます。

また、八潮市名誉市民 故鈴木泰治 元市長の公葬の実施により、永年にわたり八潮市政の発展と住民の福祉に尽力された功績に心から敬意を表するとともに、哀悼の意を表せるものと考えます。

衛生費では、健康長寿埼玉モ

デル普及促進事業の実施に係る経費の予算化により、誰もが健康で生き生きと暮らせる「健康長寿社会」の実現の促進につながるものと考えます。

土木費では、フェンス改修に係る葛西用水親水化工事費の増額により、良好な景観形成が図られるものと考えます。

教育費では、寄附金を活用した図書の購入により、図書館資料の充実が図られ、より市民が学べる環境が向上するものと考えます。

以上、今回の補正予算の内容については、年度開始の間もない時期ではありますが、財源の有効活用を図りながら、市民生活の向上につながる予算措置がなされており、大いに評価できるものであります。

よって、ここに議案第51号平成27年度八潮市一般会計補正予算（第1号）について、賛成の意を表し討論を終わります。

用語 討論

討論とは、表決における賛否の理由を述べることをいいます。

討論には、1つ目として、討論を行う者が自己と反対の立場の者または態度保留者を自分に同調させる。2つ目として、討論者の政治的立場を明確にするという役割があります。

会派の構成

●自民クラブ（6人）

代表者 瀬戸 知英子 19
所属議員 金子 壮一 5
林 雄一 6
朝田 和宏 13
大山 安司 14
荻野 清晴 20

●公明党（5人）

代表者 小倉 順子 17
所属議員 森下 純三 4
前田 貞子 11
岡部 一正 12
武之内 清久 18

●民政クラブ（5人）

代表者 服部 清二 16
所属議員 篠原 亮太 7
寺原 一行 8
中嶋 善文 15
豊田 吉雄 21

●日本共産党（4人）

代表者 郡 伶子 10
所属議員 鹿野 泰司 1
高波 幸雄 2
池谷 和代 9

●市民と市政をつなぐ会（1人）

代表者 矢澤 江美子 3

※氏名の下に数字は、議席番号です。